

西鎌倉モビリティ通信

NISHIKAMAKURA MOBILITY NEWSLETTER

西鎌倉を移動しやすいまちへ

タクシー不足補う「公共ライドシェア」とは

石川県小松市の「小松市ライドシェア」（全国自治体ライドシェア連絡協議会サイトから）



鎌倉市議会は6月16日、西鎌倉地区とJR大船駅周辺で行う「公共ライドシェア」実証実験費約4500万円を盛り込んだ令和8年度補正予算案を可決した。一般ドライバーが自家用車で乗客を有償で運ぶことでタクシーやバスなど既存の交通機関を補完する。どんな制度なのか。

Q.いわゆる「白タク」？ A.国が認めた制度

高度経済成長期には無許可で乗客を運送する「白タク」行為が横行したが、「公共ライドシェア」は交通空白地の移動手段を確保するため、2006年から自治体が運営主体となる形で国が導入した「自家用有償旅客運送」という制度。これまで全国600以上の自治体で実績があるという。

Q.素人運転で危険は？ A.複数の安全対策

一般的にドライバーは事故歴や健康の検査があり、運転や接客マナーなどの事前講習を受ける。ITを活用し、運行前後にタクシー会社の管理下で車両点検やアルコール検査なども行う。車載機器などで運転状況をモニターすることもあり、専用の保険に加入するなど安全対策が取られる。

Q.運賃や運行形態は？ A.業界と調整次第

鎌倉市は当初案として、西鎌倉地区と大船駅周辺から市内各地への乗車に限り、運賃はタクシーの8割、個人乗車型で昼間・夜間の時間帯に運行するとしている。手配は携帯端末のアプリや電話で行う。交通機関との調整次第で詳細な運行条件や形態を決定していくという。



大分県別府市で導入された「湯けむりライドシェアGLOBAL」（同連絡協議会サイトから）

他の自治体では…

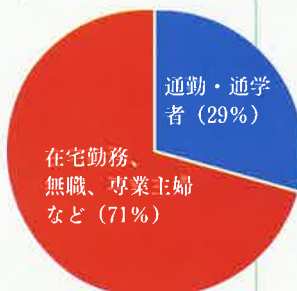
石川県小松市：タクシーが不足する夜間帯に実施。ドライバー報酬は運賃の7割
大分県別府市：観光客向けに24時間。運賃はタクシー相当
神奈川県三浦市：午後5時以降。配車アプリ「GO」を利用
神奈川県松田町：平日午後8時台のみ、山間の地区に限定

DATA

通勤・通学しない人7割

西鎌倉住民に移動における属性を選んでもらったところ、平日の日中に地域にいない「通勤・通学者」は29%、地域にいないことの多い「在宅勤務、無職、専業主婦など」は71%の割合だった。

※2025年11月、西鎌倉地区対象、アンケート回答総数1432件



実証実験へ勉強会始まる

11月ごろからの公共ライドシェア実証実験に向け、西鎌倉地区町内・自治会連合会モビリティ委員会は活動を開始した。7月の主な活動は以下の通り（予定含む）。

第1回委員会全体会：4日午後1時半～、西鎌みんなの家
高齢者向け勉強会：22日午前10時～、鎌倉山集会所
商工業者との意見交換：29日午後2時～、腰越行政センター
※サポーターを随時募集しています。詳しくは公式サイトへ

発行：西鎌倉地区町内・自治会連合会

地域の個性豊かな9つの自治会・町内会からなる住民主体の課題解決型地域団体

✉ nishikamakura.union@gmail.com

モビリティ委員会
公式サイト



NEXT

NISHIKAMA

移動しやすいまちを目指す西鎌倉の動きを毎月伝えていきます。
今回は8月初旬発行予定